

Works:

優れたデザインと性能の高さ。池田さんが頑張る「建築プランナー株式会社一級建築士事務所」の魅力は、それだけじゃない。気になるお金の事がすっごくクリアで、はっきり言って超リーズナブルなのだ。というのも、素材選びから職人の手配の施工すべてを「直」で行っているから。つまり中間マージン全カットというごまかしのないやり方を貫いているのだ。「建築関係の方のオーダーも多いから本当にリーズナブルなんですね。馬鹿正直会社って言われたこともありますから」。池田さん。それ誓め言葉ですよ。後悔先に立たず。よっ、家を建てるか、と一念発起した方はまずホームページ (<http://www.kpkp.co.jp/>) へ。1年待ちとか、行列ができる前に要チェックしてください。

建築プランナー(株)一級建築事務所
〒福岡市南区和田4-3-3 ☎092-512-3931



中に居ながら、なぜか竹藪とか山脈とか、時には少し荒れた海岸だったりを想像させてくれた。たっぷり木の空間は、料理によって外の気配を入れ替えているのかも。と思わせるほど、魅力のある料理だ。例えば前菜の華やかさは、まるで壮麗な庭だ。季節を自然に映しつつ、手数は見せない。ゆったりと構えつつのびのびしたその風情は、ご主人のお人柄を想わせる。なんでもメディアの取材はあまりお受けにならないそうで、うーん、もったいない。でも「たくさんお客様で賑わう時もあれば、暇な時もあります。いいんですよ、それで」とご主人。流行り廃りは関係ない、ここには料理そのものの真髄があるのだ。昼は1575円〜、夜は取材班も味わった魚コースが一番手頃で4725円から。お腹もいっぱいです。正月は5日から。予約が無難。



1.前菜盛り合わせ 1260円/魚コースでいただいた前菜。美しい。しかも品数が多い。季節の美味しい旬の食材からつまみ食いする楽しさがある。これでお酒もすすみます。
2.スッポンのスープ 2100円/湯葉たっぷり。スッポンコースは1万5000円と店一番の値段。他にも予算に応じて料理は作ってくれる。ふく料理も人気だ。
3.星野雅之さん/星野さんは、ご主人の片腕ともいえる存在の料理人です。彼女も専業主婦。ちなみに星野のB型。頑張ってください。

※メニューは月替わりとなっていますので、今回ご紹介したのは11月のメニューです。

DATA

料理処 和多留

〒福岡市南区寺塚1-26-11
☎092-561-5977
営業 11:30~14:00 / 17:30~22:00
休 月曜



お問い合わせ、ご意見・ご感想の宛先
〒810-8525福岡市中央区天神3-15-24-4 (株)シティ情報ふくおか(Shochu-Club) 12月25日号係

NEXT 次回、登場いただくのは、キッチンパラダイスオーナーの田中文さんです。

霧島酒造ホームページ
霧島酒造の最新情報、商品紹介、焼酎の正しい飲み方や宮崎の食文化などを知ることができるホームページです。
www.kirishima.ne.jp

霧島酒造株式会社
福岡支店
福岡市中央区天神1-13-21天神商業ビル8F
TEL 092.722.4455 www.kirishima.ne.jp

左側のバナーから「Shochu Club」へ

www.fukuoka-navi.jp
「シティ情報ふくおか」のホームページ「Fukuokaナビ」では、霧島酒造「Shochu Club」の掲載記事がご覧いただけます。この誌面に登場した、福岡で活躍する素敵な女性が紹介する飲食店を、毎月掲載に合わせてホームページにもアップしていきますので、是非ご覧ください。

霧島酒造「Shochu Club」
《シティ情報ふくおか》のホームページ「Fukuokaナビ」では、霧島酒造「Shochu Club」の掲載記事がご覧いただけます。この誌面に登場した、福岡で活躍する素敵な女性が紹介する飲食店を、毎月掲載に合わせてホームページにもアップしていきますので、是非ご覧ください。



生まれながらに在ったもの、家族と家と生活。だから普段は意識しない。新たに家を持つ時、人は改めて家族と家と生活の意識に目覚めるのかもしれない。池田尚美さんは今日も、そんな目覚めの場所にいる。心を尽くし、それぞれの理想を描いている。「これが父さんが作った家だよ」。誇らしげな父親の姿に憧れ、夢中になって図面を引いた。この時、幼稚園生。中学生で建築家になることを決意する。高校では建築家と理系と信じて進むも元来の数字音痴が災いし、初めての挫折を経験。が、天は池田さんを見放さない。文系でも目指せる建築デザイナーの道を目指し、京都造形芸術大学へ。一浪覚悟だった。しかしミラクルが起こる。時間内

に描くことが困難と思われた絵の課題に、なんと池田さんが毎日練習で描いていたプロコリーが当たったのだ。そして、見事合格。「本当に幸せな大学四年間でした。小説を読んでその内面をイメージしたデザインを描きなさいとか、想像力を刺激される日々を過ごした」。現在は一番身近な先生である父親と共に、生活と家族のある家にこだわって図面を描いている。「お客様の一日や生活のいろんな場面を想像しながらデザインをするのが好き。お客様の要望は、より良い家作りの大きなヒントになりますね。ただ、窓一つとってもその位置で空気の流れが滞ったりする。だから建築素材や構造にも詳しい一級建築士の父と話し合いながら、一つひとつを決めていきます。たまに激論もしますよ(笑)。でもそれは、共に良い家を造り、お客様に喜んでほしいという熱意の表れ」。

ジャズとおしゃべりが大らかに響く木の空間。創作和食の和・多留は、ご主人の言葉通り、空気のきれいな町にあった。さて、焼酎は?「お客様の奥様が宮崎の方で上様式の時、黒霧島をいただいて呑んだのが、私にとってもお酒(焼酎)の初体験。上品な香りが好きで今も黒霧島以外、浮気はしてませんよ(笑)」

池田さんには夢がある。「いい意味で、有名になりたい。我欲じやなくお客様に喜んでほしいたくて、「うちの家も池田さんにおまかせした家なんだぞ」とってそんな親子のやりとりを想像しちゃうと楽しくなってくるんですよ」。現実が夢も想像も超えて素晴らしいことを、池田さんは、今日も描き続ける。

Today's Guest: 池田 尚美さん
建築プランナー株式会社一級建築士事務所 住空間デザイナー

Profile: 福岡市生まれ。父親は一級建築士という家庭に育ち、幼い頃から建築に興味を持つ。中学生で既に建築家になることを決意。京都造形芸術大学を卒業後は一時、ホテルなど大きなプロジェクトを手がける設計事務所を経営しながら住宅のデザインをやりたくて父親の会社に再就職。お客様と相思相愛になれる家を創り出している。



カタチ
ライフ

Naomi Ikeda X Wataru